

D-10 飲料パックでコースターを作る

～地球温暖化を止める為、飲料パックを燃やさないでリサイクルする～

講義担当:米田健一(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	□小学校低学年 □小学校中学年 ■小学校高学年 ■放課後施設利用児童 ■中学生 ■高校生 ■大学生 ■地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年「社会科」、中学1～3年「SDGs」、高校1～3年生「SDGs と国際理解」		
関連のあるSDGsのゴール	12,13,14	オンライン授業	□可 ■不可
対応可能曜日	■平日 ■休日 □その他(曜日)		
対応時間	10 時～17 時		
年間実施上限数	3 回(日程があえば 3 回を超えても開催できる場合があります)		
講座実施方法 ※()は場所等	■講義(パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等) ■ワークショップ(下記(4)の環境を守る取り組みを一緒に考える) □自然体験()		
講座所要時間	2 コマ 90 分		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、体育館での場合マイクの準備をお願いします。		

講座内容

1. 講座の目的・ねらい

廃棄物・資源循環及び地球温暖化防止の一つとして、家庭ごみとして焼却炉で焼却される飲み終わった飲料パックをリサイクルして、コースター、なべ敷、小物入れ等を作る。児童・生徒が廃棄物をリサイクルする事の大切さを学ぶ。

2. 内容

(1) 40名の児童・生徒は、1グループ5名8グループに分かれる。

(2) 講師がパワーポイントで次の事を説明する。(30分)

- ① 日本、世界がSDGs(持続可能な開発目標)の内、特に環境問題で遅れている課題
- ② 家庭ごみの分別により、ごみのリサイクルを進める事の大切さ
- ③ 廃棄物リサイクルとして飲料パックからコースター、なべ敷、小物入れ、エコ・バッグ等の作り方

(3) 講師は飲料パックからコースターを作る。(15分)

(4) 講師は、児童・生徒に飲料パックからコースターを作ることを指導する。(45分)

授業時間が1コマ45分しか取れない時は、児童・生徒が作るのは時間が足りないので、材料を講師が先生に渡して、後日先生と児童・生徒が、講師が説明した作り方のパワーポイントを見て、一緒に作るか等を、講師と先生が事前に話して決める。



左上:飲料パック 上中央:生徒がパックからコースターを作っている 右上:生徒が作ったコースター

以上

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会 TEL:080-9297-2801

メールアドレス:kenichi.yoneda2000@ymail.ne.jp